

こうとう民報

2016年7月号 140

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



参院選挙特集



市田 忠義



田村 智子



江東地区委員長 吉田としお
7月10日投開票の参院選挙では、改憲阻止を最大の争点に押し上げ、同時に3つのチエンジ(税金の集め方、税金の使い方、働き方)の提案も示して有権者に訴え、江東区の比例代表の得票は、公明党を上回る32181票です。選挙区では新人の山添拓候補に24644票、全都4位で当選しました。日本共産党と山添拓候補に寄せられたみなさんのご支持に感謝、いのちと暮らしを守り、「戦争法」廃止にむけて引き続き頑張ります。今後ともご支援よろしくお願い致します。

参議院議員 山添 拓
参議院選挙では、多大なご支援をいただき、大変ありがとうございました。比例代表での日本共産党の得票数と議席増、田村智子参議院議員とともに、私、山添拓を国会へ送り出したいみなさんを中心に感謝いたします。選挙戦を前に、江東治水事務所など、ゼロメートル地帯の防災について区議団の協力で調査に伺いました。ご期待にこたえられることが出来るよう、全力でがんばる決意です。都知事選は、自公都政を終わらせ、憲法を守り、都民の暮らしと福祉第一の都政を実現するため、4野党と市民の力で都政を都民の手に取り戻す歴史的な戦いです。私も力を尽くします。



いわぶち 友



たけだ 良介



大門 みきし

参院選比例代表 結果 (江東区/東京都)

	今回 (2016.7.10)				前回 (2013.7.21)				
	江東区		東京都		江東区		東京都		
	得票数	得票率 (%)	得票数	得票率 (%)	得票数	得票率 (%)	得票数	得票率 (%)	
日本共産党	32,181	13.9	882,538	14.2	日本共産党	27,342	13.0	772,500	13.7
自由民主党	82,947	35.8	2,134,931	34.4	自由民主党	63,939	30.5	1,797,989	31.9
民進党	41,786	18.0	1,227,608	19.8	民主党	16,067	7.7	585,724	10.4
公明党	28,018	12.1	710,528	11.4	公明党	27,067	12.9	688,534	12.2
おおさか維新	19,472	8.4	455,849	7.3	日本維新の会	25,828	12.3	635,573	11.3
生活の党	6,398	2.8	197,844	3.2	生活の党	7,283	3.5	120,835	2.1
社会民主党	5,300	2.3	175,458	2.8	社会民主党	3,107	1.5	116,139	2.1
その他	15,742	6.8	426,775	6.9	その他	39,088	18.6	915,473	16.3
計	231,844	100.0	6,211,531	100.0	計	209,721	100.0	5,632,767	100.0

野党共闘の要
全都で比例11万票増
改選議席倍増

参院選東京選挙区 結果

当 候補者名	党派	今回 (2016・7・10) 定数 6				前回 (2013・7・21) 定数 5					
		江東区		東京都		江東区		東京都			
		得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%		
山添 拓	共産	24,644	10.6	665,835	10.7	吉良よし子	共産	25,546	12.2	703,901	12.5
蓮 舫	民進	43,518	18.7	1,123,145	18.0	丸川珠代	自民	37,818	18.0	1,064,660	18.9
中川まさはる	自民	32,000	13.8	884,823	14.2	山口なつお	公明	30,745	14.7	797,811	14.2
竹谷 とし子	公明	30,010	12.9	770,535	12.4	山本太郎	無	23,030	11.0	666,684	11.8
朝日けんたろう	自民	27,501	11.8	644,799	10.4	武見敬三	自民	25,144	12.0	612,388	10.9
小川 敏夫	民進	14,153	6.1	508,131	8.2	すずき かん	民主	16,617	7.9	552,714	9.8
田中 康夫	お維	18,850	8.1	469,314	7.5	小倉 淳	維新	17,196	8.2	413,637	7.3
その他(24名)		41,856	18.0	1,156,962	18.6	その他(13名)		33,457	16.0	826,010	14.7
計		232,532	100.0	6,223,544	100.0	計		209,553	100.0	5,637,805	100.0

翻 駁

梅雨前線が停滞して蒸し暑い日が続く熱中症が心配です。参院選では前回より9議席減の要因となった野党共闘攻撃に奔走した安倍首相、壊憲の意図をかくしてアベノミクスの「成果」を誇示する「この道」は、「道半ば」逆さによれば「バカな道」と揶揄されました。あるテレビは、したたかな自民党の大企業頼みの集票の仕組みに迫る報道をしました。岡田民進党代表の地元・三重では野党統一候補に対抗する候補の選対責任者が、選挙区の企業の支援を強化するように東京の本社に電話している映像が流れました。さらに全国に3万8千人の会員を擁する日本会議がクローズアップ。昨年11月、美しい日本の憲法をつくる国民の会「主催の1万人集会で提起された憲法改正のための国民投票賛同署名は、国家神道を奉ずる神社などですすめられ、7百万人に達したといわれています。世論に乖離して衆・参で改憲勢力が3分の2を超え、内戦が激化する南スーダンの自衛隊に戦争法が発動される危機が迫ってきています。江東でも、成功した戦争法廃止の市民大集会を基礎に、市民の共同をさらに広げていくことが求められています。この大事な時に、都知事選での野党共闘のため歓迎された宇都宮さんの決断は、とりわけ地元の市民運動に大きな希望と勇気を与え

ることになるでしょう。

戦争の拡大と教育

概説

江東の歴史 (58)

国民学校の「ヨミカタ」の教科書



江東地区、特に城東地区の人口増で小学校が増設され、昭和10年になって深川区には石島小1校が新設されたが、城東地区には次の小学校ができました。

亀戸... 豊川(1936年)。大島... 四大島(33年)、五大島、釜屋堀(39年)。砂町... 二砂(27年)、三砂(30年)、四砂(34年)、亀高(37年)計8校

夜学校も次の8校が新設されました。八名川(六間堀を変更)、大富(霊岸)、毛利(猿江)、扇橋、平久、亀戸、大島、砂町

商業・工業学校は、府立実科工業(都立墨田工高の前身、高橋、27年)、府立第三商業(都立三商、越中島、28年)、市立深川工業(猿江、31年)、市立深川商業(平野、35年)、市立城東工業(砂町、41年)

1927年には二大島小内に、町立大島実務女学校ができ、これは35年に市立城東高等家政女学校となります。亀戸の日清紡内には私立梅香実科女学校がありました。

1935(昭和10)年に青年学校令がでて、8校が小学校または社内に併設され、満2歳から19歳未満の男子が義務として通学することになりました。私立の青年学校は、藤倉と日立亀戸内にありました。

1941(昭和16)年12月8日、太平洋戦争がはじまりました。この戦争に先立って3月に国民学校令が公布されて、小学校は国民学校と改称、教科は国民科、理数科、体練科、芸能科に統合されました。一年生の国語教科書も「ススメ ススメ ハイタイ ススメ」に変わりました。江東地区の国民学校は次の35校です。

深川区... 明治、明治第二、深川、東川、東陽、平久、扇橋、毛利、臨海、元加賀、数矢、明川、白河、八名川、川南、大富、石島

城東区... 第一亀戸、第二亀戸、香取、浅間、豊川、水神、文泉、第一~第五大島、釜屋堀、砂町、第二~第四砂町、亀高、他に水上生活者の子弟のための水上小学校が、1943(昭和18)年、浜園町(塩浜1丁目)にできました。

行事日程
8月27日(土) 10時
夏季教育研究会 四砂小学校
主催・都教組江東支部



野党と市民の共同を広げ都政の刷新を

都政の争点

共産党・志位委員長語る

日本共産党の志位和夫委員長は7月14日記者会見し、都政の争点について語りました。ポイントは次のとおり。

「政治とカネ」「一度と起こさない」

都政の混乱は、自民・公明が押す知事が2代続けて政治とカネの問題で辞職したことが原因。とりわけ舛添前知事は都民が苦勞して払っている税金を使い仕事をしているという納税者の立場に立った意識が全く欠けていたといわざるをえません。

志位氏は「納税者意識を胸にとめ、不祥事を絶対に起こさない都政にしていくというのが大きな課題です」と述べました。

暮らしと福祉第一 経済もよくする

さらに、志位氏は「都

民の福祉と暮らしについては、公共事業で経済をよくするというやり方をやめ、目の前にある高齢化社会の問題点、待機児童の問題、介護の問題などにきちんとお金を充てて経済を良くしていく方向に切り替えていくことです」として、「オリンピック・パラリンピックもそういう角度で、いかにスリムでコンパクトなものにしていくかということが大事なポイントになってきます」と述べました。

改憲ストップ!! 憲法守る都政に

また志位氏は「憲法の問題は国の問題で都政とは関係ない、ということには決してなりません」として、改憲の動きに危機感を持つ多くの都民と力をあわせることを表明しました。

子どもの貧困の実態をつかんで 社会が子どもを見捨てない活動を



都教組江東支部、江東の教育を考える会共催
都教組江東支部と江東の教育を考える会は6月23日、「今、子どもの貧困・格差問題に迫る」学習会を合同でひらき、「子どもを見捨てない社会へ」活動を進めることを確認しました。会場の総合市民センターに46人が参加しました。

浅井春夫立大教授が講演

講師の浅井春夫立大教授は、日本の子ども

の6人に1人が貧困(貧困率16.3%)という深刻さにも関わらず、政府は「子どもの貧困対策の推進に関する法」や「子どもの貧困対策に関する大綱について」(2014年)では、貧困率削減の目標すら設定していないことを指摘しました。

さらに、アベノミクスによる非正規雇用拡大、社会保障削減など、所得再配分が機能しないことを反映して、ひとり親世帯の貧困率が54.6%になっており、子どもの貧困の再生産のサイクルの実情を明らかにするとともに、貧困の温存は奨学金、技能取得、各種保険などの条件で兵役への志願を誘う「経済的徴兵制」の危険な意図に基づいていると強調されました。

子どもの貧困の真の解決策については、餓死に瀕していたり、教材費を払えず修学旅行にも行けない、虫歯治療もできないなど、胸の痛くなる数々の実態を踏まえた「子ども食堂」や「無料学習塾」など、社会が子どもを見捨てない活動の例が紹介されました。

浅井氏は結びとして、ノーベル平和賞のマララさんの国連演説の一節「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、1本のペンでも世界を変えられる」を読み上げました。

7月31日(日) 都知事選投票日

「住んでよし、働いてよし、環境によし」 「困った」を希望に変える「東京を、一緒に」を、ご一緒につくりましょう。その力は野党と市民の共闘。
参院選では、最初のチャレンジャーとして大きく成功しました。
東京で勝利すれば、東京と日本の政治を変えるうえで、はかりしれない大きな意義をもちます。
ジャーナリストとともに都政を取り戻しましょう。

地方自治を掲げた憲法を守り生かすために、今度こそ不正・腐敗と決別し、都政を都民の手に取り戻す歴史的な選挙です。